

「湖上を歩く主イエス」 マタイ・マルコ・ヨハネ比較

マタイ 14 章	マルコ 6 章	ヨハネ 6 章
<p>◆五千人に食べ物を与える</p> <p>13 イエスはこれを聞くと、舟に乗ってそこを去り、ひとり人里離れた所に退かれた。しかし、群衆はそのことを聞き、方々の町から歩いて後を追った。</p> <p>14 イエスは舟から上がり、大勢の群衆を見て深く憐れみ、その中の病人をいやされた。</p> <p>15 夕暮れになったので、弟子たちがイエスのそばに来て言った。「ここは人里離れた所で、もう時間もたちました。群衆を解散させてください。そうすれば、自分で村へ食べ物を買って行くでしょう。」</p> <p>16 イエスは言われた。「行かせることはない。あなたがたが彼らに食べる物を与えなさい。」</p> <p>17 弟子たちは言った。「ここにはパン五つと魚二匹しかありません。」</p> <p>18 イエスは、「それをここに持って来なさい」と言い、</p> <p>19 群衆には草の上に座するようにお命じになった。そして、五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて弟子たちにお渡しになった。弟子たちはそのパンを群衆に与えた。</p> <p>20 すべての人が食べて満腹した。そして、残ったパンの屑を集めると、十二の籠いっぱいになった。</p> <p>21 食べた人は、女と子供を別にして、男が五千人ほどであった。</p>	<p>◆五千人に食べ物を与える</p> <p>30 さて、使徒たちはイエスのところに集まって来て、自分たちが行ったことや教えたことを残らず報告した。</p> <p>31 イエスは、「さあ、あなたがただけで人里離れた所へ行って、しばらく休むがよい」と言われた。出入りする人が多くて、食事をする暇もなかったからである。</p> <p>32 そこで、一同は舟に乗って、自分たちだけで人里離れた所へ行った。</p> <p>33 ところが、多くの人は彼らが出かけて行くのを見て、それと気づき、すべての町からそこへ一斉に駆けつけ、彼らより先に着いた。</p> <p>34 イエスは舟から上がり、大勢の群衆を見て、飼い主のいない羊のような有様を深く憐れみ、いろいろと教え始められた。</p> <p>35 そのうち、時もだいぶたつたので、弟子たちがイエスのそばに来て言った。「ここは人里離れた所で、時間もだいぶたちました。」</p> <p>36 人々を解散させてください。そうすれば、自分で周りの里や村へ、何か食べる物を買って行くでしょう。」</p> <p>37 これに対してイエスは、「あなたがたが彼らに食べ物を与えなさい」とお答えになった。弟子たちは、「わたしたちが二百デナリオンものパンを買って来て、みんなに食べさせるのですか」と言った。</p> <p>38 イエスは言われた。「パンは幾つあるのか。見て来なさい。」弟子たちは確かめて来て、言った。「五つあります。それに魚が二匹です。」</p> <p>39 そこで、イエスは弟子たちに、皆を組に分けて、青草の上に座らせるようにお命じになった。</p> <p>40 人々は、百人、五十人ずつまとまって腰を下ろした。</p> <p>41 イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて、弟子たちに渡しては配らせ、二匹の魚も皆に分配された。</p> <p>42 すべての人が食べて満腹した。</p> <p>43 そして、パンの屑と魚の残りを集めると、十二の籠いっぱいになった。</p> <p>44 パンを食べた人は男が五千人であった。</p>	<p>◆五千人に食べ物を与える</p> <p>1 その後、イエスはガリラヤ湖、すなわちティベリアス湖の向こう岸に渡られた。</p> <p>2 大勢の群衆が後を追った。イエスが病人たちになさったしるしを見たからである。</p> <p>3 イエスは山に登り、弟子たちと一緒にそこにお座りになった。</p> <p>4 ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいていた。</p> <p>5 イエスは目を上げ、大勢の群衆が御自分の方へ来るのを見て、フィリポに、「この人たちに食べさせるには、どこでパンを買えばよいだろうか」と言われたが、</p> <p>6 こう言ったのはフィリポを試みるためであって、御自分では何をしようとしているか知っておられたのである。</p> <p>7 フィリポは、「めいめいが少しずつ食べるためにも、二百デナリオン分のパンでは足りないでしょう」と答えた。</p> <p>8 弟子の一人で、シモン・ペトロの兄弟アンデレが、イエスに言った。</p> <p>9 「ここに大麦のパン五つと魚二匹とを持っている少年がいます。けれども、こんなに大勢の人では、何の役にも立たないでしょう。」</p> <p>10 イエスは、「人々を座らせなさい」と言われた。そこには草がたくさん生えていた。男たちはそこに座ったが、その数はおよそ五千人であった。</p> <p>11 さて、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えてから、座っている人々に分け与えられた。また、魚も同じようにして、欲しいだけ分け与えられた。</p> <p>12 人々が満腹したとき、イエスは弟子たちに、「少しも無駄にならないように、残ったパンの屑を集めなさい」と言われた。</p> <p>13 集めると、人々が五つの大麦パンを食べて、なお残ったパンの屑で、十二の籠がいっぱいになった。</p> <p>14 そこで、人々はイエスのなさったしるしを見て、「まさにこの人こそ、世に來られる預言者である」と言った。</p> <p>15 イエスは、人々が来て、自分を王にするために連れて行くこととしているのを知り、ひとりまた山に退かれた。</p>
<p>◆湖の上を歩く</p> <p>22 それからすぐ、イエスは弟子たちを強いて舟に乗せ、向こう岸へ先に行かせ、その間に群衆を解散させられた。</p> <p>23 群衆を解散させてから、祈るためにひとり山にお登りになった。夕方になっても、ただひとりそこにおられた。</p> <p>24 ところが、舟は既に陸から何スタディオンか離れており、逆風のために波に悩まされていた。</p> <p>25 夜が明けるころ、イエスは湖の上を歩いて弟子たちのところに行かれた。</p> <p>26 弟子たちは、イエスが湖上を歩いておられるのを見て、「幽霊だ」と言っておびえ、恐怖のあまり叫び声をあげた。</p> <p>27 イエスはすぐ彼らに話しかけられた。「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない。」</p> <p>28 すると、ペトロが答えた。「主よ、あなたでしたら、わたしに命令して、水の上を歩いてそちらに行かせてください。」</p> <p>29 イエスが「来なさい」と言われたので、ペトロは舟から降りて水の上を歩き、イエスの方へ進んだ。</p> <p>30 しかし、強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。</p> <p>31 イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言われた。</p> <p>32 そして、二人が舟に乗り込むと、風は静まった。</p> <p>33 舟の中にいた人たちは、「本当に、あなたは神の子です」と言ってイエスを拝んだ。</p>	<p>◆湖の上を歩く</p> <p>45 それからすぐ、イエスは弟子たちを強いて舟に乗せ、向こう岸のベトサイダへ先に行かせ、その間に御自分は群衆を解散させられた。</p> <p>46 群衆と別れてから、祈るために山へ行かれた。</p> <p>47 夕方になると、舟は湖の真ん中に出ていたが、イエスだけは陸地におられた。</p> <p>48 ところが、逆風のために弟子たちが漕ぎ悩んでいるのを見て、夜が明けるころ、湖の上を歩いて弟子たちのところに行き、そばを通り過ぎようとした。</p> <p>49 弟子たちは、イエスが湖上を歩いておられるのを見て、幽霊だと思い、大声で叫んだ。</p> <p>50 皆はイエスを見ておびえたのである。しかし、イエスはすぐ彼らと話し始めて、「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない」と言われた。</p> <p>51 イエスが舟に乗り込まれると、風は静まり、弟子たちは心の中で非常に驚いた。</p> <p>52 パンの出来事を理解せず、心が鈍くなっていたからである。</p>	<p>◆湖の上を歩く</p> <p>16 夕方になったので、弟子たちは湖畔へ下りて行った。</p> <p>17 そして、舟に乗り、湖の向こう岸のカファルナウムに行こうとした。既に暗くなっていたが、イエスはまだ彼らのところには来ておられなかった。</p> <p>18 強い風が吹いて、湖は荒れ始めた。</p> <p>19 二十五ないし三十スタディオンばかり漕ぎ出したころ、イエスが湖の上を歩いて舟に近づいて來られるのを見て、彼らは恐れた。</p> <p>20 イエスは言われた。「わたしだ。恐れることはない。」</p> <p>21 そこで、彼らはイエスを舟に迎え入れようとした。すると間もなく、舟は目指す地に着いた。</p>
<p>◆ゲネサレトで病人をいやす</p> <p>34 こうして、一行は湖を渡り、ゲネサレトという土地に着いた。</p> <p>35 土地の人々は、イエスだと知って、付近にくまなく触れ回った。それで、人々は病人を皆イエスのところに連れて来て、</p> <p>36 その服のすそにでも触れさせてほしいと願った。触れた者は皆いやされた。</p>	<p>◆ゲネサレトで病人をいやす</p> <p>53 こうして、一行は湖を渡り、ゲネサレトという土地に着いて舟をつないだ。</p> <p>54 一行が舟から上がると、すぐに人々はイエスと知って、</p> <p>55 その地方をくまなく走り回り、どこでもイエスがおられると聞けば、そこへ病人を床に乗せて運び始めた。</p> <p>56 村でも町でも里でも、イエスが入って行かれると、病人を広場に置き、せめてその服のすそにでも触れさせてほしいと願った。触れた者は皆いやされた。</p>	